

「第8期南砺市高齢者保健福祉計画」第1回策定委員会議事概要

日	時	令和2年9月23日(水)午後7時~午後7時57分
場	所	南砺市地域包括ケアセンター2階 多目的研修室
出席委員18名 (敬称略)		砺波地方介護保険組合業務課長 居島 ゆかり 公 募 委 員 井幡 秋美 富山県砺波厚生センター所長 垣内 孝子 南砺市歯科医師会会長 齋藤 繁徳 なんと住民マイスターの会会員 武部 範代 公 募 委 員 竹谷 弘之 南砺市民生委員児童委員協議会会長 得能 金市 南砺市老人クラブ連合会会長 中井 啓光 公 募 委 員 中山 明美 南砺市社会福祉協議会会長 中山 繁實 公 募 委 員 幅田 健司 南砺市ヘルスポランティア連絡会会長 藤盛 明子 南 砺 市 医 師 会 会 長 松 智彦 南砺市地域づくり協議会連合会会長 松本 久介 南砺の地域包括医療・ケアを守り育てる会会長 山城 清二 南砺市ボランティア連絡協議会書記 山田 耕誠 砺波地方居宅介護支援事業者連絡協議会南砺市代表理事 山道 克美 社会福祉法人福寿会特養いなみ施設長 吉田 雅彦
事務局 9名		地域包括医療ケア部 井口 一彦 部長 吉田 孝幸 次長・福祉課長 松田 哲也 次長・地域包括ケア課長 藤井 博之 医療課長 水上 武司 健康課長 吉本 幸治 長寿介護係長 亀田 明子 長寿介護係副主幹 金兵 留美 地域包括支援センター長 竹内 嘉伸 地域包括支援センター長補佐

1. 開 会

2. 挨拶 南砺市副市長 齊藤 宗人

(齊藤副市長 退席)

3. 第8期南砺市高齢者保健福祉計画策定委員会設置要綱について  
事務局より設置要綱について説明・・・資料1

事務局：本要綱により、策定委員会を進めてまいりますのでよろしくお願いします。  
なお、本日の出席委員は全員ですので、第6条第2項の規定により本委員会  
を有効に開催しておりますことをご報告します。

4. 策定委員について  
事務局より出席委員の紹介・・・資料2

5. 委員長・副委員長の選出について

事務局：それでは、次第の5「委員長・副委員長の選出について」に移らせていただき  
ます。先ほどの要綱第5条第1項の規定に基づき、委員長につきましては、  
「委員の互選によってこれを定める」となっております。委員の皆様方、適  
任と考えられる方がおられましたらご推薦いただきたいと思いますがいかが  
でしょうか。

委員：私は、委員長には社会福祉協議会の会長として豊かな経験と卓越した見識を  
お持ちの中山繁實委員が適任と考えます。

事務局：ただいま、中山委員へのご推薦がありました。いかがでしょうか。

(拍手)

事務局：拍手を多数頂戴し、ご承認をいただきました。それでは、互選の規定により  
まして、中山委員が委員長にご就任されることになりました。中山委員にお  
かれましては、委員長席への移動をお願いします。

(委員長席へ移動)

事務局：ここからは、中山委員長に議事進行をお願いいたします。

委員長：只今、委員各位の互選を頂きました南砺市社会福祉協議会の中山です。委員長という大役を仰せつかったわけですが、皆様のご期待に添えられるか甚だ不安ですが、精一杯務めさせていただきたいと思っております。今回、第8期の南砺市高齢者保健福祉計画ですが、先程の齊藤副市長さんのご挨拶にもございましたが、第7期の前計画を踏まえた形での策定ということが言われております。この7期の計画につきましても、この中にも沢山関わり頂いた方もいらっしゃいますが、私も参画して、かなりいい計画になったという意見も出ているところです。そういう中で8期を策定していくわけですが、そういう流れの中で評価的な部分もいろいろと議論が出てくるかと思っております。委員各位、公募委員さんも含めて新たにご就任なられた方もいらっしゃいますので、それぞれのお立場でいろいろ現場等で活躍されている方も沢山ございますが、そういう方々の生の声もお聞きしながら、より良い8期の計画にしていけたらと思っておりますので、委員各位のご協力をお願い申し上げます。よろしくお願いいたします。

委員長：それでは、委員長の代理であります副委員長の選任につきましては、設置要綱第5条第3項の規定に基づきまして、委員のうちから私が指名することになっております。せん越ですが副委員長には南砺市地域づくり協議会連合会会長の松本久介委員にお願いしたいと思っております。松本委員、よろしくお願いいたします。

(拍手)

(副委員長席へ移動)

委員長：それでは、松本副委員長より一言ご挨拶を頂きたいと思っております。

副委員長：地域づくり協議会連合会の会長をしております松本です。南砺市は小規模多機能自治を今年2つ新たに加入して、31地区全てがスタートしています。私は予てから、我々が地域で取組む最大の課題は高齢者福祉対策だと思っております。第8期の計画がいい計画になるように頑張っていきたいと思っております。また、私は山城先生や南先生にお誘いいただき、地域包括医療・ケアを守り育てる会で毎月、勉強させていただいております。そういう経験も生かして頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

## 6. 議事

委員 長：それでは、早速議事に入りたいと思います。次第6の議事ですが、第一番目に(1)「南砺市の高齢者を取り巻く現状と第7期計画の進捗状況について」を事務局から説明をお願いします。

資料に基づいて、事務局から説明・・・資料3

委員 長：ありがとうございました。それでは、ただいま事務局から説明のありました資料3につきまして、ご質問・ご意見等がありましたらお願いします。

(質問・意見なし)

委員 長：これにつきましては、また後程、関連の部分でご質問をいただいても結構ですので、次へ進めさせていただきます。

(2)「第8期南砺市高齢者保健福祉計画の策定について」を事務局から説明をお願いします。

資料に基づいて、事務局から説明・・・資料4

委員 長：ありがとうございました。それでは、ただいま事務局から説明のありました資料4につきまして、ご質問・ご意見等がありましたらお願いします。

委員 長：最後のA3版の資料ですが、基本的には第7期計画の方針に少し修正を加える部分もあるかもしれないということによろしいでしょうか。

事務局：はい、そうです。

委員 長：もう1つ気になっていたのは、資料の最初のページですが、文章の下から3行目の後段に「富山県高齢者保健福祉計画」と書いてありますが、下の位置付けの表の中に入っていないのは何故かと疑問に思いました。これは、前の計画もこうなっていたので、自ずからそうなのだと思いますが、また検討しておいてください。

事務局：はい。ありがとうございます。

委員 長：第7期計画を踏まえた形での第8期計画の策定という事で、今後、いろいろと議論を進めていく事になります。委員の皆様のご協力をよろしくお願ひしたいと思ひます。ご質問等はまた後で一括して受けたいと思ひます。それでは次に、(3)「介護保険制度の改正について」を居島委員さんの方からよろしくお願ひします。

資料に基づいて居島委員から説明・・・資料5

委員 長：資料5について居島委員さんからご説明していただきましたが、これについてご意見・ご質問等がございましたらお願ひします。

委員 長：この計画が始まる令和3年4月からの改正ということですので、これを踏まえた計画を作っていかなければならないということですね。

居島委員：はい、そうです。

委員 長：時間があれば、またご質問いただくという事で、次にまた居島委員さんの方から(4)「第8期砺波地方介護保険事業計画の策定について」ご説明をお願ひします。

資料について居島委員から説明・・・資料6

委員 長：ありがとうございます。ただいま説明のありました、第8期の介護保険事業計画の策定について、ご質問等がありましたらお願ひします。

委員 長：組合の方で地域支援事業等の把握を9月に予定されていますが、3市で大分違いはあるものですか。

居島委員：地域支援事業の中には介護予防事業とか包括支援センターの事業とかありますが、構成市によりましてどの事業を重点的にやっているかという事は多少違っていますが、高齢者の介護予防の取組みは3市とも共通している部分だと思ひます。

事務局：補足ですが、地域支援事業の記載につきましては、国が示すガイドラインで基本的記載事項となっており、必ず記載することになっております。

委員 長：これを受けて、我が計画もそういう所を出していかなければならないのでしよう。

事務局：はい。

委員 長：それでは、どうでしょうか。次に移ってよろしいでしょうか。ご質問が無いようですので、次へ移らせていただきます。  
続いて(5)「今後のスケジュールについて」事務局から説明をお願いします。

資料に基づいて事務局から説明・・・資料7

委員 長：ありがとうございました。只今、説明がありましたスケジュールについてご質問等がありましたらお願いします。

委員 長：ニーズ調査について、南砺市と介護保険組合で内容は一緒で、対象だけを全高齢者にしたということですか。

事務局：はい、内容は一緒です。南砺市の65歳以上の2割相当を組合から発送していただき、残りの8割の方々に市から直接お送りしています。

委員 長：前回はそのような形だったかもしれませんが、65歳以上の全ての方に調査票が送られているという事で、その集計結果もまとめなければいけません、そういう意見を踏まえた計画の策定という事になろうかと思えます。

スケジュールですが、コロナ禍の関係で最初の会議が今日の日になってしまったという事で、大変詰まったスケジュールで委員の皆様には申し訳なく思っております。年度内の完成ということで意識を統一して全員で前へ進めていきたいということで、ご協力をお願いします。

今日の議題につきましては大体これで終わりますが、最初でございますので、込み入った資料も出ておらず、次回からは本格的な議論になると思えます。

今日の事務局からの色々な説明、またそれ以外の事について、本来なら委員の皆さんから一人ひとり意見をお伺いすればよいのですが、今日のご発言をそれぞれの委員の皆さんに委ねたいと思えます。よろしくをお願いします。

委員：A3版の資料に「PDCAサイクル」と触れてありますが、これから計画を作られるので、まだそれについて明確なものが入っているわけではないのですが、10月からの計画策定にあたり、このPDCAサイクルを計画書の中

にどう表現されているか、おおよその予定を持っておられるのか、今のところあれば教えていただければと思います。

事務局：委員お訊ねのP D C Aサイクルは、A 3版に記載してありますのは一般介護予防事業の評価についてのお訊ねかと思いますが、この8期の計画というものと、2つの意味を持ってお訊ねかと思いますが。

P D C Aサイクルを回していくということで、一般介護予防事業の中で取り上げているのは、先ず年度内での評価というものを考えています。8期計画という事になりますと、7期の実施を行ったものの評価を基に8期の計画を立てていくという回し方になってくるかと思いますが。もし、8期の計画の中にP D C Aサイクルをどのように表すかという風なお訊ねになってくると、8期の計画の中でどのような部分の評価しながら見ていくかという所を表していく必要があるかと思いますが。大きな目標と中期の目標、それを達成するために段階的にどのような事をするかということ、8期の中に表していくということが、委員お訊ねの「どのようにP D C Aサイクルを記載するか」ということになるかと思いますが。

委員：8期計画の中に7期計画の評価をされて、どういう評価をしたのかということに記載されるという解釈でよろしいですか。

事務局：3年計画になりますので、毎年毎年の評価をそこに表すというよりは、3年間を通してどのように評価を入れていくかというようなことになるかと思えます。

委員：はい、分かりました。それでちょっと思ったのは、南砺市でいつも10月の初め頃に公表されています事務事業評価マネジメントシート、あれは一種のP D C Aですね。それをこの後、8期の3年間について、こういう風な評価をそういう所で反映していくということも検討していかなければならないのではないかと思いました。そうしないと市民にとって評価が見えないので、見える化ができるようなことも検討していただければありがたいというお願いです。

委員長：只今のご意見も踏まえてやっていかなければならないと思います。P D C Aは色々な計画で全て、やっていくべき性格のものであろうと思います。今、事務局からご説明のありましたような形での南砺市なりの回し方があると思いますので、具体的にどう掲示するかとなると難しい部分もあるかと思いま

すが、その辺はまた後程ご意見を頂いて、委員の皆さんからの意見を踏まえた形での成果ということになるかと思えます。

その他に、何かございませんか。

委員：資料4の4ページ目に基本指針（案）における基本的な考え方とあります。私は南砺市に関わって13年になります。一流の田舎を目指そうということで、松本さんや南先生に色々と教わっています。これらは大体よく分かりますが、④だけよく分かりません。「有料老人ホームとサービス付き高齢者向け住宅に係る都道府県・市町村間の情報連携の強化」が南砺市でどういう位置付けなのかなど。他は全部、南先生と色々やっていますので分かります。老人ホームが足りないのか、質のことも書いてありますが、ここだけ教えてもらえませんか。老人ホームは十分あると思っています。富山市の方に色々関わっていて、中心市街地にはほとんど老人の行く所が無い状況を見ていますので、南砺市はどうかかと思ひまして。

事務局：5ページに国が示しているものであります。1つは、「住宅型有料老人ホーム及びサービス付き高齢者向け住宅の建設状況を記載」、そして2つ目は、「整備に当たっては、有料老人ホーム及びサービス付き高齢者向け住宅の設置状況を勘案して計画を策定」となっておりますので、このようなことを触れた計画にしていきたいと考えております。

必要なサービス量につきましては、組合の介護保険事業計画でどのような施設が不足するかという数値が今後、出てくると思います。それに基づきまして、南砺市としてどのような整備が必要かという事を具体的に記載することになると思います。ただ、県との連携ということは私達も不明でして、問合せながらここを記載しなければならないと考えております。

委員長：国の基本指針にあるということですので、どのような表現になるか分かりませんが、必要なサービスかどうかという事も踏まえて、介護保険事業計画の中で記述され、それに合わせて取り組むということで。

その他、ございますでしょうか。

（質問・意見なし）

委員長：今日は初めての会議という事で、なかなかご質問もしづらい所もあったかもしれませんが、次回からはかなり内容の濃い会議にしていかなければいけない、そうでなければ日程的に難しくなってくるだろうと思います。できるだ



け早く事前に資料を送っていただいて、それぞれお目通しを頂くような形で事務を進めていただけたらと思います。よろしくお願いします。

それでは、議題は終わったという事で、マイクを事務局にお返しします。

事務局：長時間に渡るご審議、誠にありがとうございました。それでは、以上をもちまして「第8期南砺市高齢者保健福祉計画」第1回策定委員会を終了させていただきます。なお、次回の開催日程等につきましては、委員長にご相談の上、追って皆様に事務局よりご案内をさせていただきます。本日はどうもありがとうございました。

(午後7時57分閉会)